

令和元年 10 月 31 日

ストレス対処能力のある労働者は歯周炎のリスクが低いことを発見！

◆発表のポイント

- ・職場でのストレスが無い労働者と比べて、ストレスを感じながらも対処能力¹⁾が低い労働者は、歯周炎であるリスクが 2.79 倍であることがわかりました。
- ・また、ストレスが無い労働者と比べて、ストレスを感じながらも対処能力が高い労働者は、歯周炎であるリスクが 0.30 倍であることがわかりました。
- ・したがって、労働者にとって、ストレスに対処する能力はメンタルヘルスだけでなく、歯周炎にも影響を与える可能性が示されました。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（歯）の森田学教授と Islam Md Monirul 大学院生らのグループは、職場におけるストレスとストレス対処能力のバランスが、歯周炎の有無に影響していることを発見しました。職場でストレスを感じ、ストレス対処能力¹⁾が低い日本人労働者は、ストレスがない人と比べて歯周炎のリスクが 2.79 倍高いことがわかりました。今回の研究成果は 9 月 22 日、スイスの科学雑誌「*International Journal of Environmental Research and Public Health*」に掲載されました。

労働者の歯周炎を予防するためには、職場のストレスの軽減だけでなく、上手にストレスに対処する方法を身につけ、ストレス対処能力を高めることが必要かもしれません。今後は、縦断調査²⁾を行うことで、ストレスとストレス対処能力のバランスが、歯周炎の発症・進行にどのように影響するか、その因果関係を明らかにしていきます。

◆研究者からのひとこと

近年、職場におけるストレスと、歯周炎との関係が注目されています。歯周病を予防するために、ストレスとストレス対処能力について、さらなる研究を継続していきます。



モニルルさん

■発表内容

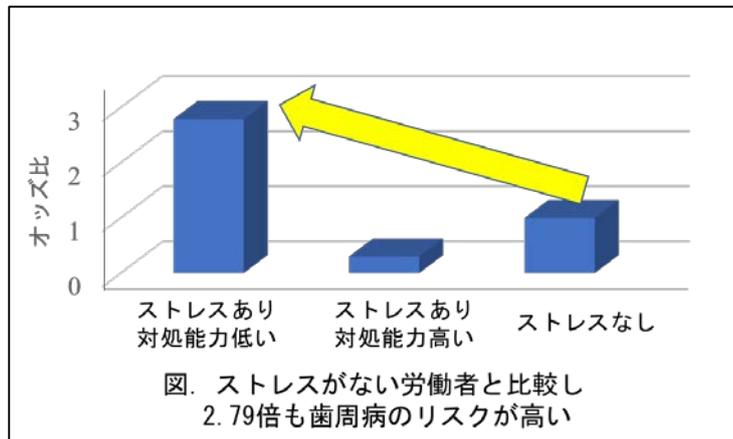
<現状>

職場におけるストレスは、体調や、メンタルヘルスに悪影響を及ぼし、労働者の歯周炎に影響することが分かっていました。しかし、職場におけるストレスとストレス対処能力のバランスが、歯周炎にどのように影響しているかは知られていませんでした。

PRESS RELEASE

<研究成果の内容>

森田教授とモニルル大学院生らのグループは、ストレスが無い労働者と比べて、職場でストレスを感じながらも、対処能力が低い労働者は、歯周炎であるリスクが2.79倍と、高いことを明らかにしました。一方、ストレスを感じながらも対処能力が高い労働者は、歯周炎であるリスクが0.30倍と、低いことがわかりました（図）。



<社会的な意義>

職場におけるストレスは、歯周炎のリスクになることが知られています。今回の研究から、労働者の歯周炎を予防するには、職場のストレスの軽減だけでなく、上手にストレスに対処する方法を身につけ、ストレス対処能力を高めることが必要かもしれません。日本人労働者の二人に一人は歯周炎を発症していることが報告されています。労働者に対し歯周炎を予防していくうえで、職場のストレスやストレス対処能力との関係を明らかにすることは重要な視点と考えます。今後は、縦断調査を行うことで、ストレスとストレス対処能力のバランスが、歯周炎の発症・進行にどのように影響するか、その因果関係を明らかにしていきます。

■論文情報

論文名：Influence of occupational stress and coping style on periodontitis among Japanese workers: a cross-sectional study

掲載紙：International Journal of Environmental Research and Public Health

著者：Md Monirul Islam, Daisuke Ekuni, Toshiki Yoneda, Aya Yokoi, Manabu Morita

DOI：10.3390/ijerph16193540

URL：https://www.mdpi.com/1660-4601/16/19/3540

■補足・用語説明

1) 対処能力

ストレスを対処する能力のことで、コーピングともいわれています。ストレスに対して、認知的・行動的努力を用いて対処することで、ストレスを軽減させ、ストレスの悪影響を回避することです。



PRESS RELEASE

2) 縦断調査

調査を実施した後、同じ対象者に対して、最初の調査から時を隔てた二つ以上の時点で再調査を行うことで、因果関係を明らかにする研究手法の一つです。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（歯）

教授 森田 学

（電話番号）086-235-6712

（FAX）086-235-6714



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。